

募集概要

■活動内容

下記の分野の活動を中心に取り組んでいただきます。

- (1) 講座支援分野（学びコム）
- (2) 講座支援分野（まなサポ11）
- (3) 講座支援分野（上映会ボランティア）
- (4) パソコン分野（まなサポ）
- (5) パソコン分野（まなサポ2）
- (6) パソコン分野（ドリームリーダー）
- (7) パソコン分野（映像記録ボランティア）

定員 各グループ5人程度

■応募条件

- ①人と接することが好きな方
- ②登録期間（1年間）を通じて、ボランティア活動の実践が可能な方
- ③下記日程の研修に参加できる方
 - ・研修A：基礎研修（全日程の6割以上）
 - ・研修B：専門研修（各分野ごとに合計6回）

■研修について

研修A：基礎研修（場所：生涯学習センター） ①～⑥の全6回

- ①6月27日（水）10：00～12：00
- ②7月12日（木）10：00～12：00
- ③7月12日（木）13：00～15：00
- ④7月19日（木）10：00～12：00
- ⑤7月19日（木）13：00～15：00
- ⑥7月24日（火）10：00～12：00

研修B：専門研修（場所：生涯学習センター） ①と、②の中から5回

- ①8月28日（火）10：00～16：00 ファシリテーション実践講座
- ②グループごとの活動に体験参加。下記の活動日時から、日程を別途調整します。

■活動日時

原則として開館日の開館時間内に、生涯学習センター内で活動します。

（1）講座支援分野（学びコム）

- ①7月25日（水）9：30～15：30
小学生向け講座「千葉公園を歩いて世界に1つの本をつくろう」の運営補助体験
- ②8月以降 毎月第1水曜日（10：00～12：00）開催の定例会に参加

（2）講座支援分野（まなサポ11）

- ①8月以降 毎月第1金曜日、第3金曜日（13：30～15：30）開催の定例会に参加
- ②2月実施予定の「シニアのための若返り塾・春」の運営補助体験

（3）講座支援分野（上映会ボランティア）

- ①8月以降 主催上映会「月曜名画座」「木曜名画座」「親子アニメ上映会」の運営補助体験

（4）パソコン分野（まなサポ）

- ①8月以降 パソコン講座 毎週土曜日 10：00～12：00
「初心者のためのパソコン入門」8/18～、「デジカメ写真の取込みとワードへの活用」9/22～

「ワード 2016 で年賀状」11/3～、「ワードでチラシをつくろう」1/5～

「ワードでオリジナルの一笔箋を作ろう」2/2～、「エクセル 2016 入門」3/2～、各講座の補助体験

② 8月以降 パソコン相談コーナー 毎月第2・4土曜日 13:00～15:00の運営補助体験

(5) パソコン分野 (まなサポ2)

① 8月以降 パソコン講座 毎週金曜日 10:00～12:00

「Win10 でデジカメ画像を楽しもう」8/3～、「ワード入門」8/31～、「エクセル入門」10/5～

「年賀状講座」11/2～他。年度内10講座の補助体験

② 8月以降 パソコン相談コーナー 毎月第1・3金曜日 13:00～15:00の運営補助体験

(6) パソコン分野 (ドリームリーダー)

① 8月以降 パソコン講座「デジカメピクニック」11/12、20、27、28 (撮影会日程未定) 講座の運営補助体験

② 8月以降 デジカメ相談会 毎月第1火曜日 (1月は第2火曜)・3水曜日 10:00～12:00の運営補助体験

(7) パソコン分野 (映像記録ボランティア)

① 8月以降 主催講座「カンタン! ビデオにチャレンジ」8/19 講座の運営補助体験

② 8月以降 毎月第1木曜日 (13:30～15:30) 開催の定例会に参加

③ 8月以降 ビデオ撮影・編集相談会 毎月第1木曜日・第2水曜日 10:00～12:00の運営補助体験

■登録期間

平成31年3月まで

研修終了後、平成31年3月までは仮登録期間とします。登録期間終了後は、本人・生涯学習センター双方合意の上、登録更新が可能です。

■待遇等

交通費・食費等は各自でご負担ください。

■応募方法

応募用紙に必要事項をご記入の上、下記へ郵送・持参・FAX・Eメールのいずれかでお申込みください。

※5月31日 (木) 締め切り。

■選考方法

応募多数の場合は抽選を行い、そのうえで面接を行います。

面接は6月5日 (火)～6月12日 (火)を予定しています。

■お申込み・お問合せ

〒260-0054 千葉市中央区弁天3-7-7

千葉市生涯学習センター2階 調査・資料室

TEL: 043-207-5815

FAX: 043-207-5817

Eメール: kouza@chiba-gakushu.jp

担当: 野 哲也